

会 議 録

会 議 名	平成 28 年度第 2 回東浦町子ども読書活動推進会議	
開催日時	平成 29 年 3 月 14 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 45 分	
開催場所	東浦町中央図書館 2 階小会議室	
出 席 者	委 員	青木美奈子氏（委員長）、奥田英子氏（副委員長）、梶山博史氏、恒川里美氏、鷹見みゆき氏、仲川貴子氏、向井貴子氏
	事務局	河合教育部長、成田図書館長、大塚係長、万徳図書館指導員
議 題	1 平成 28 年度活動実績について 2 その他	
傍聴者の数	無し	
事務局	・平成 28 年度実績報告について、関係各機関の取組を、資料もとづき事務局より説明	
委員	○ スマホ、DVDなどで子供を遊ばせる母親が見られる反面、読み聞かせに努める母親の姿もある。ギャップが大きい。こうしたなかで、保育士は読み聞かせに心を砕いている。	
委員	○ 小学校での子どもたちは読み聞かせに真剣に耳を傾けている。保育園での読み聞かせ活動のおかげかもしれない。	
委員	○ 児童館に来る小さい子を連れた親にはオモチャのみならず、本の活用も勧めている。	
委員	○ 保育園の先生が園児に読み聞かせをする様子を保護者が見る機会はあるのか。	
委員	○ 機会は少なからずある。	
委員	○ スマホママなどにはピンポイントで本を勧めてみてはどうか。最近の子どもは言葉を身につける力が不足しているように感じる。	
委員	○ ブックスタート事業における本の引き換え率はいかがか。	
事務局	○ 中央図書館、児童館、子育て支援センターで本の引き換えを行っているが、本年度の引き換え率は、残念ながら 50%弱。これを受けて、次年度は、本の選択を可能にする、どこでも交換可能にする、などの変更を考えている。	
委員	○ ブックスタート事業で「お話し会」をPRしたところ、水曜日の	

委員	お話し会では幼児を連れた参加者が増加した感がある。 ○ ブックスタートで、本が選択可能になるのはありがたい。双子の子をもつ親もいるので。
委員	○ 小さいころから本に親しむのが大切。子供は同じ本でも何回も読んでほしいとせがむもの。
委員	○ 今回の実績報告では達成率100%が多いが、全体の推進計画の達成状況はいかがか。
事務局	○ 大もとの「子ども読書活動推進計画」は、地味で地に足の着いた活動を目指していて、無理のない計画になっているので、いずれの項目についても達成率は非常に高い状況と考えている。
委員	○ この会議は毎年6月と3月に開催されているが、他の課が主催する会議は年に1回のものも多い。この会議を年に2回やる必要があるのか。
事務局	○ 会議の回数については、検討していきたい。
委員	○ 若い教員が増えているので、若い教員が参加しやすい研修の日程を計画してほしい。夏休みの後半が出席しやすいのではないか。
委員	○ 本年度実施されたビブリオバトルの研修は、初体験の者も多かったが好評だった。
委員	○ 図書館主任より、子どもたちの読書量が増加の傾向にあると耳にした。勤務校でも、本年度は学校図書館の本の貸出数が一人平均18冊で、前年度より増加している。ブックスタート事業などの影響もあるのかもしれない。
委員	○ 子ども読書活動推進計画は形式的に見えるが、学校図書館担当者が活動すべき一覧を見て意識できるので良い。
委員	○ 読書感想文・感想画コンクールでは、昨年度も本年度も全国レベルの段階に上っていく作品もでている。その意味で子ども読書活動推進計画が功を奏してきているのではないか。